
原作 コーエーテクモゲームス
漫画 片山陽介
1
SHONEN
MAGAZINE
COMICS
NIOH
仁王
金色の侍

片山陽介◆作品

「仁王～金色の侍～」

1～以下続刊

原作:コーエーテクモゲームス
漫画:片山陽介



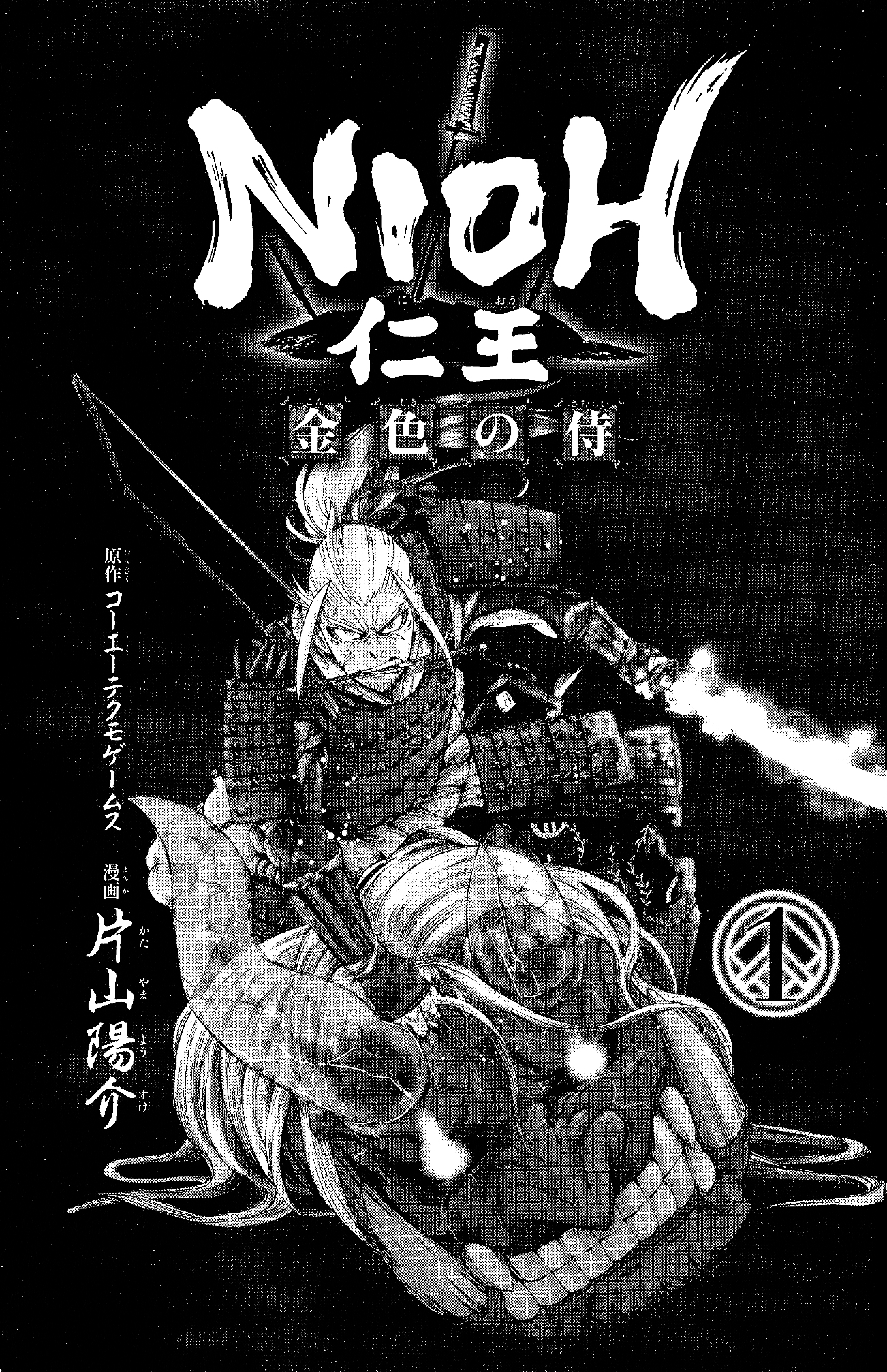


Cover Design By Sakagami Kazuya (banjo)



片山陽介
YOSUKE KATAYAMA

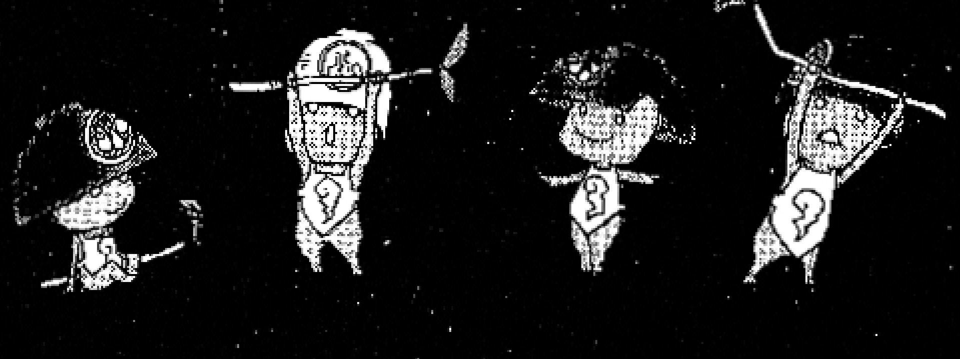
ウィリアムと一緒に
僕の戦いも始まりました。
そんな1巻です。
よろしくお願い致します！


NIOH
仁王
金色の侍
原作 コーエーテクモゲームス
漫画 片山陽介
1

NIOH

仁王

金色の侍




ザッ
つまるところ――
お前たちには食料を提供してもらう
我らが主君が戦に勝ち
我々が然るべき待遇に戻るまでだ
簡単な話であろう
……
…っ
あんたらが大変なのは分かった…が
俺たちも戦の影響で自分らの食いもんすら困ってる…
ピタッ


だから
すまんが――
頭の下げ方を
知らんようだな
お前ら漁師ごときと
我々武士とでは
身分が違うであろう？
ん？
であろう？



ザァアアァ…ッ…
一六〇〇年 豊後国 黒島――
豊後国…現在の大分県。
ザァアアーッ
ザァアァン…
…え?
ドサッ
ワンワン
ザアアッ


ゴボ
ゴボ
おーい……
どこだ……？
ああ…ここにいるんだろ!?
そうだろ!?
待っていてくれ…っ!!
必ず…
必ず助けるからな…っ!!
シアーシャ!!


………
……
ガラッ
タローはお外ね!!
あ!!
気付いたのね！異人さん!!
!!
ゲホゲホ
あああ!? お水飲んでお水!!
ワンワン



ねえねえ どこから来たの!?
ねえ
日本のコトバ話せる!?
ギロッ
ひっ…!!
ごめんなさあい!!
ごっ
ペコ
…え?


I'm...
William.（ウィリアム）
うー…
らむ…?
!!
……
うーらむ!!
あなたのお名前（なまえ）ね!!
あたし!! さち!! さーち!!
Sachi?
そう!! よろしくね!!
さてこれからどうしたものかね?
ちーーん
うーむ…
?


おい!! もう魚ねぇのかよ!!
今朝の分かき集めてこれだけだぁ
何でも昨日臼杵の方で異国船が座礁したって話だ
異人が何人も来たってよ
それで潮目が変わって魚がとれねぇのかも…
くそ…っどうする……?
ザァアア
明後日までに干物300枚は
無理だぞ…!!
みんなー!!
!! さちか
また迷い犬拾って来たとかじゃねぇだろうな


ずむっ
元いた所へ返して来なさい
ワンワン
ってか
さち……お前…そいつ!!
ザワッ
その瑠璃色の眼え!!
黄金色の髪!!
こいつ…件の異人の一人じゃねえか!!
この浜にも流れてきやがったのか!!
??
そうなの…何とか仲間のとこへ返せないかなぁ?
な!?


何言ってんださち!!
こいつらの船のせいで魚がとれねぇんだぞ!?
そんな疫病神助けるだなんて!!
それよりも
異人なんてこの村に置いてたらアイツらに何されるか……!!
ザァァァ
そ……そんなこと分かってる…
村の状況も分かってる…
分かってるけど…!!
困ってる人がいたら助けろって…
お父が言ってたから……!!
……!!お前のお父は——
源ちゃん……!!
もういい!!作業に戻るぞ!!
…ちっ


……
………
大丈夫…
!
あたしなら大丈夫!!
!
…?


うちの村……
ボロいでしょ？
………
ボ
ロ
い〜
………


この村はね…
数年前から
野武士達に支配されちゃってるの
今も野武士へ差し出さなきゃいけない干物作りに
皆 追われててあんなにピリピリしてるんだ…
皆 本当はもっといい人で
この村はとてもいい村であたしの故郷なんだ
ってうーらむには通じてないよね!!
とにかく感じ悪くてごめんねぇ!!
……
よし!!
今あたしにできることはうーらむにご飯を食べさせることね!!
ニカッ
貝獲り行くよ
貝!!
???


…あたしのお父はこの村のまとめ役だったんだ
でもね…
頭の下げ方を
知らないようだな
ゴッ


お父!!
お父!!
お父ぉ!!
いやあああ……!!
ヒュー…
ヒュー…
さ…ち…
い…いいかい…
この時代を…
恨んじゃ
いけない…よ
こんな…
ひどい…世だ…
から…こそ…
ヒュー…
困っている人を
…助けられる子に…
なりなさい……


だからあたしがお父みたいに
困った人を助けてあげれる人になるって決めたの
お父がいなくても大丈夫
あたしは大丈夫!!
あたしが頑張ってれば
きっと村は昔みたいに…戻るんだからぁ…



お前らかねてより我々に目をかけてくれていた友軍より文が届いた
〝近く隣は豊前国にて城攻めあり〟
ゆえに人手がいるらしい…
機は熟した…
武功をたてあるべき生活に戻ろうではないか
この臭い村ともおさらばだ


…さぁ
祈ろう…
…こんなボロ社でも
祈らんよりは
マシだろう…
…今日こそは
何とか大漁に…
…ふんっ　こんな世に
なってる
くらいだ…
ここに俺らを
助けてくれる神
なんていねぇよな…
うーらーむ!!
!



源さん!! うーらむ見なかった!?
朝起きたらいなくて…包帯もはずしてたの…!!
…ふん
おおかた傷が癒えて出ていったってところだろ
…そんな…
元気になったんなら良かったじゃねぇか
いつまでもここにいてもらう訳にいかなかったしな
さぁ俺たちは漁に出るぞ!!
自分の命は自分で何とかしねぇとな!!
おお!!
……
ん?
お…おい…山側…
……
ん? どうした?
山?
あ…
あれは…!!


な…なんでだ!!?
ひぃぃ!!
約束の日は明日だろ!?


野武士共だぁぁぁ
なんで……!!
ワァァァ


…相変わらず汚い村だ……
ひゃはは はは!!
お…
お侍様……本日はなぜ…
約束の期日は確か…
明日で――…


ああああああ
誰がその臭い口を開いて良いと言った
あ…ああ…あ
源さん……!!
…なんだ小娘
その眼は…
許す
申してみろ
これ以上この村を苦しめるのはやめて!!
さち…!!


…ふむ
どこかで見た顔だと思えば…
以前俺が斬った漁師の娘か
お父はあたしに困った人は助けろって教えた!!
だからあたしはこの村がこれ以上困るのを見すごせない!!
――頑張るんだ…頑張れっ
あたしが言われた通り
お父みたいな人でいたら
この村もきっとまた
お父がいた頃のように――……!!!
親が親なら…子も子…か…


……え？
子供だから手を出さないとでも思っていたか？
いやぁあああ
夢見ればいつか幸せがやってくるとでも？
現状を抜け出せるとでも？
違うな
この国は今 戦の世
力こそ全てだ!!
俺たちも今宵 戦の為にこの地を発つ
その前にお前ら…


教えてやれ
こいつら親子の綺麗事などゴミだとな
え？
行けぇ!!
戦への景気づけだ!!
──待って…？あたし頑張れるんだよ…？
この村が…昔みたいになるまで



この村は捨て行く!!
存分に愉しむがいい!!
奪え!!
犯せ!!
貴様ぁああ!!
最初からこの村を…!!
黙って大人しく
我らの糧となれ
それが弱者の宿命
お願い…
もう……
やめて——


ひゃははははは!!
逃げろ逃げろぉー
助……っ助けてくれぇ
…え？
タッ
な…なんだこの異人は…!?
ザワ
山盛りのアサリ持ってるぞ!?
？
ワッ
お…おい!!お前でもいい!!
助けてく——
ってああ!!見向きもしてくれない!!
ぷいっ
こっちこっちー!!


オイオイオイ 俺たちに内緒で
異人なんてかくまってやがったのかよぉ!!
悪い奴らだなぁあ!!
ひゃあああ!!
ピ
ィ
ッ
!!
なんで…? 刺さってねぇ!!
ズ…ッ
…っ!?
それどころか この圧…!!!
こっちが 動けねぇ…!!!



Sachi!!
ビクッ
!
…っ!!
うー…らむ…?



…何をしている……？
さっさとその異人も斬れ!!
ハッ…
!?
痛っ
おお!? 何と大粒のあさ――
り――




あ…
ぺ…？
…なんてこった…
この身のこなし…
見かけ倒しじゃねぇ…こいつ……


一体何者なんだ…!?
が…っ
何をしておる…!!
さっさとあの異人を止め──
──手…!?
That's you...!! The man who made Sachi cry!!
てめえか…!! さちを泣かせやがったのは!!
くそが──


ドッ
カハッ…
!!


がっ…はっ…
痛え…痛え!!!
くそぉおお!!
なんてこった…あっという間に…
助かるど!!
…っ
ハッ
ハッ
ハッ
ハッ
聞いてねぇ
聞いてねぇぞ!!
こんな奴がいるなんて!!!
ぐぅ
!!!
ドポッ
こんな所で…こんな所でこの俺が…っ
死んでたまるかぁあ
ガッ
カラララ
ダン
!!
そうだ俺は戦で功を上げ…
身を立てるんだ…
なぜなら
俺には──


〝力(ちから)〟がある
〝アム…
…!?
リタ〟…?


おっ……
鬼だァア!!!





は…ははは…
すげえ…鬼だ…
さ…さすが
お頭……
きょ
え…
お頭…
う…
あ…？
うああ
あああ
逃げろ
おおお!!


ワァァァ
さち!! 逃げないと……!!
!!
わぁあぁ
うーらむ……
!
さち!!
キャアアア
うーらむ…
あ!!
何してんの!? 早く逃げよう!!
!?
何で野武士の甲冑なんて――


Found it…!!
!!
Go…
……何？うーらむ…
うーらむも早く逃げようよ……


ゼクル
Go!!
な…？
何を言って…!?
ひっ
!?
ちょ…あなた誰よ？
彼は〝行け〟と言ったのでござる
…!!
どうやらこの国に来た理由の〝手がかり〟を見つけた様子
彼はこんな所で立ち止まってはいられないのでござるよ
オオオオオ






オオ
オ
オオオ


!!
お頭ぁ
お頭ぁぁ
さて――
どうやらこの〝鬼〟相手には刀が通じないようでござるな…
どう戦うおつもりか
異人殿


ケタケタケタ…わかってただろう異人め
あの男は今や〝常世〟の住人…
もはやお前にあの〝鬼〟は斬れん…!!
命惜しくば
さっさとこの国から出ていけ…!!
ケタ
ケタ


来るぞ!!
オオオオ
……はっ この国のモンスターは…
球遊びがお好きだとは…ファニーだぜ…
…ここまででござるか…?


!!
何かを見つけた…!?
…古びた社……!?
なんだ…この国にも使えるのがいるじゃねぇか…
ちょっくら…


力(ちから)を貸(か)せ!!




!!
刀が光を――!!!
!!
ケタケタケタ
逃げろ逃げろ
ギャアア
〝九十九武器〟だぁ!!!
ア…
アアア…
アアアアア!!!





鬼を…倒してしまった……
それもたった一人で……!!
彼はまるで――
〝仁王〟様だ…!!!



おい！最期に答えろ!!
ザッ!!
!
たまげた
げ……!!
俺ぁ異人の言葉が分かるぞ…!!
ひゃはははははは……!!
……
…けっ…それほどこの力が異常ってことか…
俺は人を追っている
お前にその力…“アムリタ”を与えた奴はどこにいる
お前も面倒なことやってんな
フゥ…


〃関…ヶ原…〃
パァアア
そこに行け…
…すまなかった さち……
俺たち今まで野武士にいいように使われて
お前にもひどいことを…
…本当だよ …これからは皆で助け合ってくれる？
あ…ああ!! 当然だとも
よし!! じゃあ許そう!!
ばんっ
ぐぅ～
は!! ほら さっそくタローが空腹だって!!
……
え!! まず犬!?


……
あ おい!!
危ないぞ!!
ダッ
危なくないよっ
うーらむだもん!!
!?
うーらむ…
ありがとう
うーらむの
おかげだよ…
これからは
皆で助け
合ってくね…!!


あたし今度は本当に
大丈夫だから
だってうーらむは…
行かなきゃならないんだものね…
…ってあれ？
源さん…ござるの人は？
ござる…？


…で
どこまでついてくる気だ？
…ほう…バレていたでござるか
………
てめぇ英語に慣れてんな…何者だ



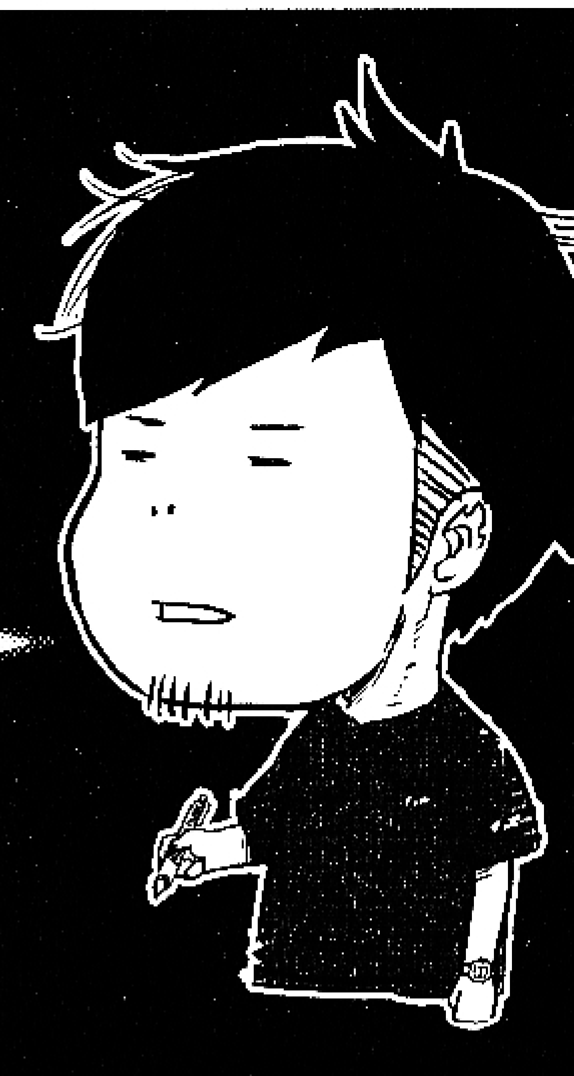
おぬしも
“鬼退治”に慣れてござろう!!
ド
拙者 名は“服部半蔵”と申す
おぬしをこのまま“関ヶ原”に行かせるワケにはいかんでござる
拙者と一緒に来てもらおう!!

第1話ネーム

（コミックスP46～47）



1話目の見開きのネームです。
ネームは作画の前に、
コーエーテクモさんに一度
チェックして頂くので、
結構しっかり描き込んでいます。
(少しずつ描き込みを減らしていっているのは
ナイショの話です。)



片山先生


"関ヶ原"には行かせねぇ——だと？
そりゃあどういうことだ？
ふむ…



！
血の気の多い方でござるな
…その身のこなし…
“ニンジャ”ってやつか……!!
ご明察！
拙者の名は
服部半蔵
拙者には使命がある
貴殿のお力お借りしたい



第2話 忍の者

それは命を懸けた任でござる




いいか
半蔵とやら
俺には そんな暇はねぇ
俺は この国に――
人を追って来たんだ…っ!!
……敵…でござるか
……
このウィリアム殿という御仁
なかなか手強そうでござる


ズッ
ならば致し方ない…
にゃーんっ
懐から猫ーーー!?
…間もなく宵五ッ…!!
ぶみにゃー
??
説明しよう！忍は猫の瞳で時を知ることが出来るでござる
ウィリアム殿拙者一旦退くでござるよ！
ギューッ
ぎゃあああ
戌の刻…午後７時
中津の城は防衛上 戌の刻を過ぎると 城門は閉ざされるでござる
はぁ？
それは間に合うのか？
…案ずるなウィリアム殿



中津の城下はすぐそこでござる
………
…じゃ…
じゃあ何でわざわざこんな野ざらしで飯食わせてんだよ!?
おや お口に合わなかったでござるか？
あ 意外と美味かった――
って違エエ!!
…ではまたお会い致そう
拙者は諦めないでござるよ
ウィリアム殿
…ごっそーさん



――豊前国中津城
…拙者が中津を出てからたった2日…
…なんと…
これ程までになっていようとは……!!
……
…〝片付け〟が済んでるだけまだマシでござる…か
服部だ開けてくれ!
はっ!!


ギギ
イィッ…
…っ!!


…門の前まで難民が…城下の民の数…
さすがに敷地内の寺内では事足りぬか……
ただでさえ戦で食糧不足
ウィリアム殿をここで食事させなくて
正解だったでござるな…
!
グイッ



おじちゃん外から来たの？
何か食べ物ちょーだいよぉ
…悪いが拙者も旅から戻って来た所
食べ物は持っておらんのだ…
……そっかぁ
！
……
漁村で頂いてきた干物だ…こっそりお食べ
え…!! いいの!? ありがとう!!



干物だと!?
よこせぇぇ
馬鹿野郎 俺んだぁあ
わぁあぁ
…っ!!
…分かっていたことでござろう…
これがこの城の…いや この国の現状でござる…
てめえ
コラ
んだと!?
戦と魍魎への恐怖で心をすり減らす…



誰が彼らを咎められようか…
兵も民も…限界でござる……
!
…なんで…
なんでこんな目に遭うの…?
戦なんて…あるの…?
う…う…
やだよぉ…もうやだよう……



ハァ
ハァ
ポタ
ポタ
よくやった
正就…いや
三代目
半蔵よ
これで儂も
安心して
当代をお前に
任せられよう
…しかし
あのような数を
…殺める必要が
あったので
しょうか…
拙…私は
どうも"戦"に
むいていな──
西へ向かえ
三代目半蔵
…え？
…し


家康公より西国大名調略の命が下った
来たる大戦お前が鍵を握るのだ!!
一族の名誉しっかりやるのだぞ
おい!! 聞いたか今度家康様直々の命を頂いたそうだぞ
ああ!!
三代目様は一族の誇りとして頑張って頂きたいな
一族…
誇り…名誉…
拙者の…
忍の力はそんなもののために…?
戦とは
名誉のために命を奪う…?
何の為にあるでござるか?
拙者も…
そう思うでござるよ


中津城内
ふむ!
よく戻られた半蔵殿!!
中津城が主
軍師 黒田官兵衛
はっ!!
かつての天下人秀吉様の元で手腕を振るい
奴の力なくしてこの戦どうなろうか
家康様をしてそう言わしめる御仁…
何としてでも味方について頂きたい最優先人物でござる…


半蔵殿がここを出られて2日 今も魍魎は増え続けておる
昨夜も〝塗壁〟なる魍魎が城下に現れ申した
古より日本には魍魎・物の怪の類は多くいるが
このように大きな被害を引き起こすことはなかった
何かおかしなことが起こっておるとしか思えぬ
先の〝塗壁〟も討つ術を持たぬ故
捕らえるのが精一杯…兵も怯えきっておる…
半蔵殿…
は!!



この官兵衛と いえども 人外が 相手となると
闇に生きる 半蔵殿の 情報を頼る他 術はない
…実は不思議な力で 鬼を一刀にする異人を 見つけて参りました
なんと…!! 鬼を一刀… しかも異人…
現在 話を つけている最中で ございます
すぐに ここへ連れて 参りましょう
そうか…!! かたじけない ………!!
官兵衛様……
お勝か
うむ
はい
服部半蔵の配下 お勝



おお お勝 戻った――
報告があるので少し黙って下さい
おお!?
ここからしばらく行きました所に
おそらくこの城を狙っているでありましょう
野武士を中心とした党が陣を構えております
その数およそ50
!
…しかし
数にして50程度の野武士共に
焦る必要などなかろう…
私めもそう思いましたが念のため
確認致しましたところ…
官兵衛の子
黒田長政


どういう事だ
野武士が…
人外となっているということか!?
まさか!
陣は
石田軍の物…
一大名が
人外を作れるなど
考えられませぬ
人外の者かと
手引きをする者がいるかと…!!
なんということだ…
半蔵殿!!
すまぬがお力をお借りする!!
はっ!!
城の防衛に参りましょう!!


にゃ～ん
猫っーー!!
半蔵の猫ー!!
いつの間について来たー!!
にゃーん
にゃーん
半蔵の奴猫時計忘れてやがるのか…
見張ってんじゃよ


おい どこを見ておる こっちじゃ こっちー!!
聞こえておるじゃろ ワシの声が
のう…? ウィリアムとやら
な なんてこった!! この国じゃ猫まで喋んのがデフォか!!
違わい
どう見ても特殊事案じゃろ このバカモノ
ふふ… 半蔵が見れぬ分 新鮮な反応じゃ
…っ
ワシは猫又!!
代々服部の守護霊をしておる猫じゃ



ドキ ドキ
な…なんだ 守護霊か 分かってたけどな
よし 刀を下ろしてから言え
…って猫…!! 何だよ!!
半蔵の代わりに監視か!?
ふむ… 遠からず…と言ったところか
!?
お主に力を貸してやろうと思ってな
お主 威勢は良いがこの先
また大鬼と対峙しようものならどうするつもりだ
!!
お主が見せた技 …あれは武器に〝守護霊〟の類を宿すものであろう
ワシを先の戦いのように使うがよい
…ふん なんだ お前もそれか
半蔵と変わらねぇな


……今
半蔵のいる城に人外共が向かっている
!!
表向きは石田軍の黒田討ち…
いいか
狙うは黒田官兵衛が首!!
しかしそれを手引きする者は——
奇怪な力で人外を生み出すという話じゃぞ


……
おい…
見えるか？
ああ…
敵さんついに来よったぞ
灯が思ったより多いのう


なんじゃ お前
知らんのか
ありゃ鬼の角が
光ってるんだ
鬼の角が…!?
お…恐ろしい……!!
で…でも壁にはお寺さんの護符も貼ってんだ…!!
鬼は近づけねぇよな!?
民が皆退けば俺らも退いていいんだ…!!
……なあ
お前さあ…
十両あったらどうするよ?
はぁ!?
おめぇ突然どした!?
敵はもう目の前にいんだぞ!?
まあ聞けや
そうでも考えねぇとやってられねぇだろ
…それならいいけどもよぉ……
んー
十両なぁ…
お前ならどうす…


お俺…内側でこれ使えば…
…お前…それ…
十両もらえるって言われてよぉ…
何？



!?
…城に手をかけたか…
ドッ
さぁどうするウイリアム…


ズズズ…
壁壊しゃいいんダア…
そしたら…
小判もらえるぞぉ……
手がかりかも知れぬぞ?
おゆき…待ってろぉ…
田んぼ買ってぇ…


くそ!! 西の石垣が崩されたぞ!!
急げ!! 何としても城内には入れさせるな!!
こっちだ
パキョッ
あ
ギャアアアア


城下の民が中津川を渡り切るまで
何としても時間を!!
―中津城―
…っ
………
来たぞぉお
くそぉ…!!
こんな鬼…どうやって討てば…!!
ひひぃい
逃げよう
怯むなぁ!!


乱れれば相手の思うツボ…!!
鬼を殺せぬとも足止めを!!
おお!!


ごっ…
い…痛え
誰か…
誰か助けてくれ!!
ひぃ
御免!!
者共!! 鬼を縛り上げよ!!
長政様!!


半蔵殿
状況は!?
…我々では
この鬼共は
殺せぬ
次々に
攻め入られ…
このままでは
城が……
官兵衛殿の
退路を——
!


…城下の男の子か…
こんな幼い子が…可哀想に…
分かっていた…
全ては救えぬ…と
ズ…
……長政殿急ぐでござる…
我々はこのような童一人の死よりも官兵衛殿の命…
大局を見据えねばならぬでござる
半蔵殿!?
童といえども中津の民──


…半蔵殿
…さぁ長政殿 我々には時間がないでござる!!
官兵衛殿の退路を!!
おう!!



官兵衛様こちらへ!!
…これで城の者も皆退いたか?
は!!
…一城の主が従者まで残らず先に逃がされるなんて…
ははは年寄りのおせっかいだ
笑い事じゃねえって分かれ…下さい
う
鬼共はすでに敷地内に流れ込んでいるようです
ここに来るのも時間の問題かと
お勝
お前ワシの介錯をせよ…!!
…なっ
皆を逃がせたのならそれで十分
—とて人外などにワシの首はやらぬ
中津の町を眺めこの腹を斬—


グッ…
ふん…
腹も斬らせぬつもりか…!!


官兵衛様!!
お勝!!
…っ
人外め!!


半蔵様!!
遅くなり申し訳ございませぬ!!
舟場への道の確保に時間が掛かり申した!!
下で長政殿がお待ちです!! お急ぎ下さい!!
しかし……!!
官兵衛殿は我が主 家康様に必要なお方!!
こんな所で命を落とされては困ります!!
…かたじけない…!!
半蔵殿への恩…忘れはしませぬぞ……!!
この官兵衛必ずや家康殿のお力となろう!!
…!! 有り難い…!!



…ぐ…あ
…だが
──この半蔵
簡単には殺らせぬでござる!!
ガ…
ア…
!
そこで大人しくしとくでござる
よし…官兵衛殿を──


……
千客万来でござるな
…鬼は3体
さっさと
動きを止めて


官兵衛殿を追うでござる!!
ガア
オオ
—1体!
2体!!
ちぃ…
—あと1体…っ



半蔵様
そうだ…
これでいいのでござる…
い…け…
…拙者は誓ったはず――


この命いつ落とそうとも構わぬと!!
……
へ?
い 家康様 今なんと……!?
どうした半蔵 目を開けたまま寝ておったか?
い…いえ決して そのような…!?
お主は戦で命を捨てる覚悟はあるか?
と尋ねたのだ
何…儂とお主二人だけの会話だ
何を申しても咎められることはない
……
ありませぬ
……
家康様!! 拙──…私は…


この命…泰平のためならばこの家康
いや何を犠牲にでもしよう!!
鬼にもなろう!!
同志が必要なのだ共に戦ってくれるそのためには
半蔵……どうだろう
お主の力…貸してはくれぬか…?
はい
瞬間心に決めた


ん?
たった1言で
半蔵!! 儂もだ
いや
言えようか? 真の笑顔で 自分の故郷だと
この国を 命を奪われ 血を…涙を流し そんな者たちが
当然だろう なぁ 民はどうだ
覚悟がないのに 命を捨てる 儂ら武人が
ありえぬ!! 断じて


全ては我が主君の大義のために!!
だから…これで…
……いつまで…
かじってるでござるかぁ!!
覚悟はしていた


――つもりだった
あの涙…
あの子も怖かったろうに…
くそう…助けたかったなぁ
う
くそう――…
死にたくないなぁ――
ボロ ボロッ
ああああ

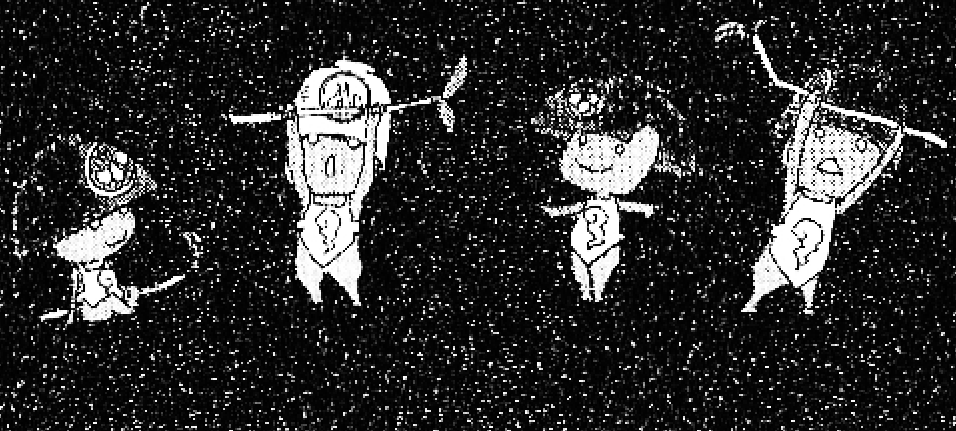



…猫!!
…ふんっ なかなかじゃ ねぇか…!
おい 半蔵
……っ!!


勝手に——


ド
死んでんじゃねぇよ
"関ヶ原"に行く前に ちょいと野暮用だ
手伝ってもらうぞ!!

NIOH
仁王
金色の侍




第3話 中津城決戦
…関ヶ原に行く前にちょいと野暮用だ
手伝ってもらうぞ!!
……馬鹿野郎…
泣いてんじゃねえよ…
うわぁあん…父ちゃん…母ちゃん…
——思い出すじゃねえか…!!



や…っ
野暮用と申したでござるかウィリアム殿!?
そう
でーーーんっ
野暮用だ
手伝え
状況を分かっているでござろう!?
助けてもらったことには感謝しているでござるが…
それは半蔵がビビってちびっていたことか?
でーーんっ
ちっ…ちびってはござらん!!
ガーンッ
この中津城は今敵軍…石田軍からの攻撃を受けているでござる
しかも官兵衛殿を狙う敵兵は人外の鬼共…!!
民の犠牲も増える一方でござる!!



官兵衛殿をお守りするのが我が使命…
だが これ以上犠牲を増やさぬ為にも
鬼共を殲滅せねばならんでござる!!
…………
…俺は敵を追っていると言ったよな
ウィリアー
聞け
そいつの名は〝ケリー〟
俺はそいつが…人を鬼へと変えるのを見た
ガッ…
カガッ…
…コイツのようにな!!
!!
…だからウィリアム殿は〝怪異〟を手がかりに…
……ああ……


この鬼共は間違いなく奴に繋がっている…!!
だったら鬼共は全て斬り伏せてやる!!
それが俺の〝野暮用〟だ!!!
…ウッ…


コーん
ウィリアム殿──!!
…その"カンベー"とやらは
ウ……ウィリアム殿……?
が…
まだ この城内にいるのか?
ガァ
い…いや 部下のお勝が外へお連れしているところでござるが…
なぜ…
…そうか だったら──
遠慮はいらねぇな!!
許せ


ズ
ガフッ
ザン
ウィリアム殿
何を!?
アアウ
ウィリアム殿!?
まったくおぬしは……無理をするつもりじゃな
うるせえ猫
俺はのんびり
してらんねえんだ!!



鬼の断末魔を…外に向けて…っ!!!
ウィリアム殿 そんなことをすれば 鬼共が…!!
これ以上 犠牲を増やしたく ねえんだろ
だったら この城を 狙わせるのが 早え!!
!!
さあ 半蔵



腹をくれ!!
オオオオオオ


ザ
ザ
ザ
ザ
ゴトッ
!




ガアア
!!


カッ
カッ
あ
ガァー
アアア
ウィリアム殿
ザザ
そのまま前へ!!
カッ



アー
もう半刻以上戦い続けてもなお…
お見事でござる
ゴロ…
そのウィリアム殿の技
教えて頂きたいものでござるな
……
コイツ本当に猫のこと見れねぇんだな
面倒じゃろ
何か見えない所で悪く言われてる気が――!!
さあ
次の鬼共が来る前に動くでござるよ
…!
…このクナイが…
最後の一本…



ウィリアム殿を助けたせいでクナイも尽きたでござるよ…
ふははっ
敵に囲まれて泣きちびってやがったら また助けてやろうか!?
…いや その時は
拙者を捨て置くでござるよ
ウィリアム殿の力は必要な力…
そのお命を優先するでござる
…ふん
言われるまでもねえ
最初からそのつもりだ


官兵衛様!!
官兵衛様!!
こちらへ!!
よくぞ!!
よくぞご無事で!!
父上よくぞご無事で
…半蔵殿はまだ戻ってはおらぬか…
お・・・
!
おい…


し…城に灯か…!?
鬼共の角だ…!!
あんなに群がって…中に誰かが…!?
そう言えば
途中 金色の髪の者を見たぞ…!!
金色……半蔵殿の言っていた異人の者か!?
ということは半蔵殿たちが あの鬼共を引きつけてくれたのか!!
たった二人で戦っている者を
我々が指をくわえて見ていられようか!!
おお!!
者共!!
我々も最期まで戦おうぞ!!


ふふーん…
ふふふーん
…いいじゃないか
その声…
あ…っぐ…？
その音…!!


ははは…っ
この素晴らしい惨劇もーー
クライマックスだな
オオオ


…見ろ 半蔵
倒した鬼共から不気味なもんが出てんだろ…
本当でござるな… 何やら光って…
あれは〝アムリタ〟というもんだ
…アムリタ……?
不思議な力を持つ〝霊石〟…といったところだな
…確か西洋の書で…
読んだことがあるでござる
かつて西方より蒙古の大軍が攻め寄りし際に………
〝石〟を用いてそれを撃退した——と
——遥か東方の島国 ジパングでは 黄金の宮殿や豊富な宝石が満ちている。…元国の王 フビライ・ハン配下の大軍が その富を求め攻め込んだが ジパングの兵たちは〝奇跡の石〟を用いて よく戦った。さらに凄まじい暴風にも見舞われた フビライの軍団は壊滅し この島国をあとにした。
——マルコ・ポーロ『東方見聞録』第六章174-175
その〝霊石〟は兵に人智を超えた力を与えたとか…


それは十中八九アムリタだろう
ケリーはそのアムリタを使って
人間を鬼の兵としてやがるんだ
それだけじゃねえ……
奴は俺の大切な――
ウィリアム殿
拙者のことは…捨て置けと
言ったでござろう…


…ふん
捨てる場所を選んでるだけだ…
…………かたじけない……
とりあえず
お前は上まで登れ!!
…?何の…
音でござるか


ズ!!
パチッ
パチ
オオ
半蔵!!
早く上へ


足手まといなんだよ!!
…くっ
しかし……!!
ふん…上等だ…


ガッ
忍とあろう者が…
屋根に登るのに…一苦労とは…
オォォォォ
…おっと…


…九十九武器の…っ
刀が通らねぇ…!!
なるほどな………
甲冑ごと・・
変異してやがるのか…


そりゃあ…
うわああん……
嫌でも思いだすよな
俺たちの出会いも
最悪な時だったもんな
ツ
ポウ…


刀が通らねえ
鬼…しかも
手負いの…
見つかって
しまったようだ


第4話 宿敵
なんてことはねぇ…
俺の故郷も日本と同じだった
自然にあふれ精霊を信じ
そして戦争
家は焼かれ家族は殺され
ひっくひっく
故郷は消えた
父ちゃん…母ちゃん…
フラ
フラ


そうだろう？
パァァァ…ッ
〝ミアーシャ〟——!!


戦争を何とか耐えた
そして今度は違う〝怪異〟
くそっ死んでからも幼気な子供をいじめてんな!
あの世でワインでも飲んで潰れてろよ!!
悪霊たちに狙われ始めた
!!
ガッ
シアーシャ!!
でも二人なら戦えた


ドサッ
ボゥ…
そんな中で
大丈夫…
〝彼女〟に出会った…
私がいるわ…
シアーシャ…
私はシアーシャ…
あなたの祈りから生まれた守護霊…


俺たちは
家族も同然だった


どんなに絶望的な時でも
地獄のような場所でも
ウィリアム…
大丈夫…
さあ
お前がいれば…
俺は何度でも
立ち上がってやる



追え
逃すな
くそ…!!
何だ あの男!!
あの石で化け物を作ってやがった!!
シアーシャ!!
急いでこっからズラかるぞ!!
…!?
シアーシャ!?
大人しく石だけを渡していればよかったものを…
お前は知りすぎた…
家族を…
返してくれ…!!!


ふーん…こんな"石"が
そんなに高く売れるのかよ…
悪霊たちを倒すと手に入る"光る石"が
なんだったら客を紹介してやってもいいぜ
シアーシャは普通の奴には見えねぇんだな
高値で取り引きされると知り
仲間を集め"狩り"を始めた
毎度!!
ジャラッ
シアーシャには怪異の居所が分かるらしく
俺たちはあっという間に金持ちになった
全ては順調だった
……
あの時までは――


オオオオ



…何てことはねぇ……
俺たちはいつも困難だらけだった
そうだろ？シアーシャ!!
オ…
オ…
オァアア
コイツには九十九武器が通らねぇ…か
オオ…
オオオ
…おいおい…
何しようってんだ…
来るぞ!!猫!!


ケリィィイイイ!!!


well,well
…well
ジュウウウウ…
そんなに大きな声で呼ばれなくとも——



自分の名前は
よく知っているつもりだがな
ウィリアム……!!
オアアアアアア
待て
おおっと
ピタ
アアア…
!


…鬼共はコイツの仕業…ッ
こんな最果ての島国まで追ってくるとはな……
うるせぇ…
返してもらうぞ…ケリー!!
返して……?
……ああ!


コ・・レーーーのことかな?
ああ…
やっとだ…
シアーシャ…
やっと…


返しやがれ!!!
ほう
ウィリアム殿!?
な…!?
腕ごと持っていくつもりだったか?


そういうところは
嫌いじゃないぞ？
ウロ…ボロス…!!



この島国は〝アムリタ〟の巨大な鉱山…
皆が精霊を物の怪を信じ
愚かにも崇めてすらいる
ぐはっ…
そんな異質な国で血が流れれば怨念や怪異が生まれ
そこから〝アムリタ〟が生まれ続ける
……
この国の人間共は上手く使えもしない割に 随分貯め込んでいたからな
俺がこうして活用方法を示してやっているわけだ
まあ使い切れない分は 俺がいただくがな!!
はははは!! 〝黄金の国〟とはよく言ったものだ!!!
コレには その宝の山の場所を知る力がある…


返すわけないだろう
くそ…っ
くそ…
シアーシャ!!!
…いいねぇ ウィリアム… お前のそういう所も飽きないぞ
だが悪いな
もう遊び過ぎた



俺も忙しいんだ
せっかくこの国は戦で血を流し
アムリタが多く取れるというのに
半蔵!!
戦を終わらせようとする"トクガワ"が邪魔なんだ…
さてそろそろ行くとするよ
スゥ…
じゃあな
ウィリアム…!!
…ッ!!


な…何をしているでござるか
早くケリーを…
追うでござるウィリアム殿――


何を…
しているでござるか…
奴を…追ってここまで来たのでござろう…
…ふん


〝野暮用〟がまだ終わってねえだろう
てめえは虫の息のようだな
!!
いいから下がってろ!!
む…
無茶でござるウィリアム殿の技は
効かないのでござろう!!
何してるさっさと出て来やがれ…
猫おお——


って
おおお!?
…っ!?
……。
え?
なんだ
ここは…
真っ暗だ……っ
まったく…
ウィリアムよ
落ち着くのじゃ
スッ
お…お…お…
落ち
着くのじゃって
すまなかった
ウィリアム
九十九武器があの鬼に効かなかったのはワシのせいじゃ
!?


お前には本当の〝力〟は貸してなかったのじゃ
どーん
な!?
ワシはまだお前を信じておらんかったからな
だが
…っ
お前は自分の敵や大切な者ではなく半蔵を救おうとしてくれた
感謝する
これより力の受け渡し〝分霊〟を行い
!!
ワシの真の力をお前に!!!



ウィリアム殿──
!!
ザ
ア
アア
アアアアアア


これが…


猫又(コイツ)の本当(ほんとう)の姿(すがた)——
真(しん)の力(ちから)か!!!
さぁウィリアム!! 下(した)の鬼共(おにども)を全(すべ)て斬(き)り伏(ふ)せてやるのじゃ!!
おう!!!


悪夢のような一夜がようやく明けた
中津城の兵たちは自分たちが踏み入れた怪異との戦に
まだ信じられぬ思いもあった
だが
たった一人のしかも金色の侍が
自分たちの命を救ってくれたということは
紛れもない事実だった


石田三成め…
戦に人外の力を用いるとは…
人間を捨ておったか!!
……
よいか皆の者
この戦は 記録には一切残すことはするな!!
この不吉な人外との戦は各々 墓にまで持って行くのじゃ!!
は!!
この 史実には残ることのなかった戦をきっかけとし
官兵衛は後に家康と留守居という役を務める密約を交わし
戦は歩みを進める



ウィリアム殿…
拙者のために…何を申せば良いか…
何も言うな半蔵
何も
〝分霊〟で半蔵の〝思い〟が
流れ入ったか
ふんっ
…半蔵お前がすれば良いことは二つだけだ
一つはさっさと傷を治せ
そして
俺をトクガワの元へ連れて行け
!!


奴の目的は分かった…
戦を終わらせようとする
〝トクガワ〟が邪魔なんだ…
この戦の先に必ず奴はいる…
待っててくれ
シアーシャ!!
2巻につづく



この度は『仁王〜金色の侍〜』第1巻を
初めまして片山です
昔話を少しします
御手にとって頂きまして誠にありがとうございます!
仁王あとがき的漫画
二〇一五年夏頃、初打ち合わせでコーエーテクモさんへ
※イメージです。
ゴゴゴゴ
どうもH仕です
Y田です
そこには鬼がいました
ゴゴ
※イメージです。
プレイ中は…
ドーンッ
ズギャァァァ
やってみます?
かっこいい…
と、感動していたのと同時に
野武士にフルボッコっすね(笑)
今のコントローラーってワイヤレスなん!?
Vitaと3DSしかやってない↓
はぁぁぁわわぁと衝撃。
スタッフ
竹嶋尚吾
担当編集
マツカワさん
イトウさん
スペシャルサンクス
花田哲也
☆2巻も何卒よろしくお願い致します!!

ダウンロードの手順

このコードは、PlayStation®Storeで使用します。

初版限定特典

片山先生デザインの限定装備
「まれびとの龍兜」

を下記の手順でダウンロードできます。

PlayStation®Storeから

PlayStation®4のホーム画面にある[PlayStation®Store]を選択

▼

[PlayStation®Store]のメニュー左下に表示される
[コード番号の入力]を選択し、帯に記載されているコードを入力

▼

コンテンツの詳細やご注意文を確認

▼

初版限定特典のダウンロードが可能になります
※装備の変更方法については電子解説書をご覧ください

プロダクトコード、"PlayStation Network"に関するお問い合わせ

株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメント プレイステーション カスタマーサポート
URL：http://www.jp.playstation.com/support/
TEL：0570-000-929（一部のIP電話 050-3754-9800） 受付時間 10：00～18：00

『仁王』に関するお問い合わせ

コーエーテクモゲームスユーザーサポート
TEL：0570-00-3594（PHS、一部のIP電話 045-561-8181）
受付時間 月～金（祝祭日・休業日を除く）10：00～17：00 ※おかけ間違いのないよう、お願いいたします。

PLJM 84080

●このコードは『仁王』の製品版にご利用いただけます。●このコードは日本国内でのみ有効です。●このコードは、1つにつき1アカウントのみ有効です。●このコードは1回のみ利用可能です。●ダウンロードに失敗した場合は、PlayStation®Storeのメニュー左下に表示される[ライブラリー]より再ダウンロードをお試しください。●コードのご利用にあたっては（"PSN"にアクセスするには）、インターネット接続環境とSony Entertainment Network(SEN)のアカウント登録が必要です。●このコードは"PSN"において提供されるコンテンツやサービスにのみ、ご利用いただけます。●コードおよび"PSN"のご利用にあたっては、Sony Entertainment Network(SEN)利用規約に同意の上、規約を遵守していただく必要があります。また個別の利用規約や年齢制限等その他の条件がある場合には、これらの利用規約または条件も遵守していただく必要があります。●"PSN"で登録されるお客様の個人情報のお取り扱いについては株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメントのプライバシーポリシーに従うものとします。●コードに関する再発行、紛失、盗難、破損または漏洩等について、株式会社コーエーテクモゲームスおよび株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメントでは、対応、サポート等の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。●PlayStation®Storeの仕様変更によって、ダウンロードの手順が変更になる場合がございます。


仁王～金色の侍～◆次巻予告
斬れ！
斬れ！
目指すは、東国の中心人物・徳川家康！
ウィリアムは、まず徳川の宿将・鳥居元忠と
会うことになるが…!?
ケリーの暗躍により、日本はさらなる混沌の時代へ。
そして“関ヶ原の戦い”前哨戦へと、突入する!!
くそぉおおお
我はエノクが僕
困っている者には我が手をお貸ししよう
お主に
第2巻
2017年3月9日(木)発売!


斬れ!
仁王の猛進が混沌の戦国を切り開く!!
その〝ケリー〟倒せるのか?
この金色の侍の背中はこのじいさんだぜ?

編集部では、この作品に対する皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。
また「講談社コミックス」にまとめてほしい作品がありましたら、編集部までお知らせください。
〈あて先〉
〒112-8001 東京都文京区音羽2-12-21 講談社
週刊少年マガジン編集部「少年マガジンKC」係
なお、お送りいただいたお手紙・おハガキは、ご記入いただいた個人情報を含めて
著者にお渡しすることがありますので、あらかじめご了解のうえ、お送りください。

★この物語はフィクションであり、実在の人物・団体・出来事などとは一切関係ありません。

作品初出／別冊少年マガジン2016年6月号～9月号

講談社コミックス マガジン KCM5770

仁王（におう） ～金色（こんじき）の侍（さむらい）～①

2017年 2月 9日 第1刷発行（定価は外貼りシール に表示してあります）

著　者　コーエーテクモゲームス
片山陽介（かたやまようすけ）

発行者　清水保雅
発行所　株式会社 講談社
〒112-8001 東京都文京区音羽2-12-21
電話番号 編集 (03)5395-3459
販売 (03)5395-3608
業務 (03)5395-3603
印刷所　大日本印刷株式会社
本文製版所　株式会社二葉写真製版
製本所　二葉製本株式会社

講談社

N.D.C.726 191p 18cm Printed in Japan ISBN978-4-06-395770-9



ISBN978-4-06-395



1600年、群雄が天下統一を目指し
争い合う戦国末期。武士に紛れ、
魑魅魍魎が跋扈する日本に、ある男が流れ着いた。
金髪、碧眼の異人──彼の名はウィリアム！

野武士に支配された貧村を襲う惨劇。
人が変容した“鬼”から村人を守るため、
刀を振るうウィリアムに秘められた力とは何か？
彼の目的とは？　自ら死地に赴く理由とは？

コーエーテクモゲームスが贈るダーク戦国アクションRPGを、
圧倒的迫力でコミカライズ!!